

名作文庫通信

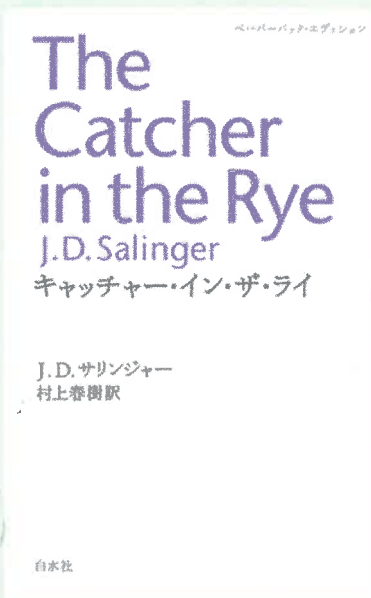
2022年 春号



春季特集

青春の文学

青春を謳歌する者、苦悩する者



【キャッチャー・イン・ザ・ライ】

J.D.サリンジャー/著 村上春樹/訳 白水社Uブックス/刊

さあ、ホールデンの声に耳を澄ましてください…。村上春樹訳、新時代の「ライ麦畑でつかまえて」ペーパーバック版。ホールデンが永遠に16歳でありつづけるのと同じように、読者の中にいつまでも留まる物語。(TRC MARCより)



【北の海 上・下】

井上靖/著 新潮文庫/刊

作者の自伝的小説。『しろばんば』『夏草冬濤』と本作品で三部作。洪作は旧制高校の受験に落第し、沼津で浪人生活を送る。友人と、中学校の柔道の練習に参加するうち、四高の柔道部の学生と知り合い、寝技主体の「練習量がすべてを決める柔道」というものがあることを知る。洪作は、金沢へいき、四高柔道部の合宿練習に参加する。弊衣破帽の学生達が高下駄で闊歩していた、バンカラな時代の青春物語。

「名作文庫」とは？

下井草図書館では文学、哲学、思想、歴史などの名著名作を文庫版・新書版で集め、「名作文庫」としてご紹介しています。



今月の1冊 心の旅を描く物語



【若きウェルテルの悩み】

ゲーテ/著 高橋義孝/訳 新潮文庫/刊

シュトルム・ウント・ドランク(疾風怒濤)時代のゲーテの代表作。許嫁がいる女性を愛し、失恋したウェルテルは、純粹さと、感情の激しさゆえに絶望も大きく、狂想状態となり、拳銃で自分の頭を撃ち抜く。文学の主流が戯曲であった時代にあって、若者の歓びと絶望が、みずみずしい感情のまま描かれたこの書簡体小説は、同時代の若者に熱烈に歓迎された。

新着本 新しく入った本のご紹介



【美徳のよろめき】

三島由紀夫/著 新潮文庫/刊

上流階級の躰の良い家庭に育った節子は、親の決めた男と結婚し子どももいたが、婚前に夫以外の男と唯一度交わした接吻を忘れられずにいた。姦通という背徳を犯しても、汚れることを知らない聖女の不倫の辿り着く先は…。(TRC MARKより)



【フロイト、無意識について語る】

フロイト/著 中山元/訳 光文社古典新訳文庫/刊

人間の心の深層に科学的知見で迫ったフロイトの論考集。「無意識について」を中心に、個人の無意識についての理論の変遷をたどる5つの論文を収録。後期の「モーセと一神教」などにつながる「集団心理学と自我分析」も併録。(TRC MARKより)

編集後記

何十年も昔の大学時代の話だ。哲学科のAが、文学科のBの下宿へ遊びにいった。「哲学とは何か」という議論になり、Aは「哲学とはアモル、すなわち、愛である」と主張した。Bは「違う。善なる意志だ」と反論した。二人は声高に議論をしたが、夜が明けても決着がつかず、その後も、顔を合わせば議論していた。青春とは、そうぞうしいものだ。

発行：杉並区立下井草図書館

杉並区下井草3-26-5

